食品科学科ニュース

●２年生　食品化学

　２年生の「食品化学」の授業で食品中に含まれる粗灰分（ナトリウムやカリウムなどのミネラル）とタンパク質の定量を行いました。定量とは、食品に含まれる成分の量を測定することです。
　予備灰化しておいたサンプルを電気炉に入れて、有機物を除去し残ったものの重さをはかることで灰分を定量することができました。
　タンパク質の定量では、分解フラスコにサンプルと硫酸と分解促進剤などの試薬を入れて、加熱しました。
　危険な試薬もあり緊張した様子でしたが、慎重に実験を行いました。




